

製品名: COL2A1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82926**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	141.8kDa

抗原情報

遺伝子名	COL2A1
別名	AOM; ANFH; SEDC; STL1; COL11A3
遺伝子 ID	1280.0
SwissProt ID	P02458
免疫原	HEK293-6e 細胞上清中に発現したヒト COL2A1 (AA: 1222-1487) の精製された組み換え断片。

背景

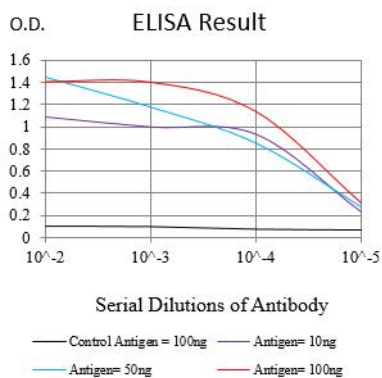
この遺伝子は、軟骨および眼の硝子体に含まれる線維状コラーゲンである II 型コラーゲンの $\alpha 1$ 鎖をコードしています。この遺伝子の

変異は、軟骨無形成症、軟骨異形成症、早期発症型家族性変形性関節症、先天性 SED、ランガー・サルディーノ軟骨無形成症、クニースト骨異形成症、スティックラー症候群 I 型、およびストラドウィック型脊椎骨端骨端異形成症と関連しています。さらに、このコラーゲン分子の C プロペプチドであるカルシウム結合タンパク質であるコンドロカルシンのプロセッシングにおける欠陥も、軟骨異形成症と関連しています。この遺伝子には 2 つの転写産物が同定されています。

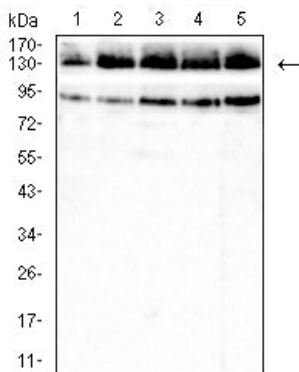
研究分野

-

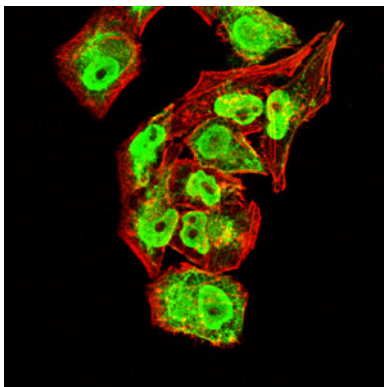
画像データ



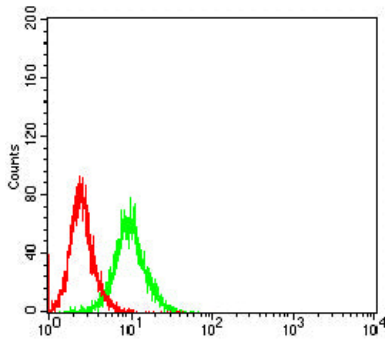
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



Hela (1)、MCF-7 (2)、A549 (3)、Jurkat (4)、および K562 (5) 細胞溶解物に対する COL2A1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



COL2A1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



COL2A1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。